



松戸市立総合医療センター



医療連携 News



第 152 号 (2020. 1)

編集・発行 松戸市立総合医療センター 地域連携課
〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀 993-1 電話 047-712-2511 (代)
<https://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>

医療機関各位

松戸市立総合医療センター
病院長 烏谷 博英

新春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、当院に対して一方ならぬご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

「医療連携 News」は、医療機関の皆様方へ毎月お送りしております。是非ともご高覧いただき、また患者さんへ必要な情報をご提供いただけましたら幸甚に存じます。

第 9 回 がんシンポジウムを開催します

【日 時】 2020 年 1 月 31 日 (金) 18:00~20:00 (予定)

【場 所】 松戸市立総合医療センター 2 階 大会議室

【テーマ】 化学療法公開カンサーボード

【内 容】 当院での化学療法レジメンの紹介と意見交換

【申込み】 同封の申込書に必要事項を記入し、FAX でお申込みください

FAX 番号 : 047-712-2573

【問合せ】 がん診療対策室 047-712-2511 (音声ナビダイヤル 6) にお繋ぎください

次頁では、2019 年 12 月 6 日 (金) に行われました、
「第 8 回 がんシンポジウム」の紹介をしております。
師走のお忙しいところ、たくさんの方がご参加くださいました。
大変、有難うございました。



(第 8 回がんシンポジウムの様子)

第 8 回 がんシンポジウムを開催しました。

当院では地域がん診療連携拠点病院として地域のがん診療の充実を目指し、医療従事者を対象として定期的に「がんシンポジウム」を開催しています。

今年度 2 回目となる「第 8 回がんシンポジウム」は 2019 年 12 月 6 日（金）に「小児がんと AYA 世代のがん」をテーマに開催しました。今月号では、当日行われた第 8 回がんシンポジウムの模様をご紹介します。

「小児がんと AYA 世代のがんについて —各講師のご紹介—」

小児脳神経外科 部長 宮川 正



(イントロダクションの様子)

小児がん、AYA 世代のがんをテーマに、第 8 回がんシンポジウムを開催しました。

特別講演の講師として、東京慈恵会医科大学附属病院脳神経外科 柳澤隆昭先生、駒澤大学 2 年生 森太郎君、東京都立小児総合医療センター血液・腫瘍科 松井基浩先生をお招きし、小児がん、AYA 世代のがんについてのご講演をいただきました。

柳澤先生には、小児がん、特に脳腫瘍について分かりやすく概説していただきました。森君には小児脳腫瘍サバイバーとしての経験を、松井先生には AYA 世代のがんサバイバーとしての体験談をお話いただきました。松井先生はご自分の経験から、若年性がん患者団体「STAND UP!!」を創立した経緯もお話していただき、参加者一同、翌日からの仕事に役立つ知識を身につける素晴らしい機会となりました。

「Everlasting Challenge or Hope? 小児がん治療の現在と未来」

東京慈恵会医科大学附属病院 脳神経外科 柳澤 隆昭

世界に誇る乳児死亡率を達成し、小児医療の先進国である我が国においても、今日もなお小児がんは、疾病による死因の首位をしめ、その救命は語義通りの challenge です。一方、小児がん医療は、20 世紀の世界の医学の最大のサクセス・ストーリーの一つとされ、1950 年代から、生存率は飛躍的な向上を遂げました。治療中、治療後の子どもたちの quality of life(QOL)に注目が集まり、合併症・後遺症の軽減がもう一つの大きな目標となってきました。

今回は、小児がんの中でも最も大きな問題を抱える小児脳腫瘍を例にとって、疾患の稀少性と多様性、障害の可能性からくる治療方法の制限など、進歩を妨げる様々な困難をどのように克服しながらこれらの目標が達成されようとしているかをお伝えしました。

治療による障害・後遺症についても、中枢神経系の可塑性に着目した運動介入による回復など、様々な新たな試みが行われ成果が示されています。治療中、治療後の子ども達と御家族に対する医療・教育の総合的支援は必要不可欠であるだけでなく、この様な従来予想されていなかった回復を導く可能性もあり、ここに大きな希望があると考えます。

改めて、子どもたちとご家族に対する皆様のご支援をお願い申し上げます。



(柳澤先生のご講演の様子)

「サバイバーとしての体験談」

駒澤大学 医療健康科学部診療放射線技術科学科 2年 森 太郎

治療中は想像をはるかに超える辛さで、化学療法や放射線治療による副作用で苦しめられ、不安で眠れない夜が続きました。特に再発後の入院は、化学療法の副作用に加えて、つばさえ飲み込めないほどの喉の痛み追い打ちをかけられ、「地球に隕石衝突して、みんな消えて無くなれ！」と本当に思ったほどでした。

病気になってから、神経質でバカ正直になりました。病前の自分を知る人の多くは僕の気持ちを理解しようと、優しくしてくれました。優しい友人や先生に甘えて、嫌なことから逃げるが多かった中学高校時代でありましたが…

大学は放射線技師を目指す学科で、実験やレポート提出が多いです。何をしても遅く、困難が伴うようになった自分は、同級生においていかれないように必死です。その必死さが時に悲壮感となり、周りに引かれ、輪に加われないことで、疎外感を抱くこともあります。



(森さんのご講演の様子)

また、楽しみにしていたイベントさえ、直前になるとなぜか苦痛に感じるほど、行動を起こすのが億劫になるようになりまして。スポーツ観戦は好きですが、打ち込めることが少ないので、自己肯定できず、気づけば他人の不幸を心の中で喜んでいる自分がいます。

後ろ向きになってしまう自分がいることにいつも嫌悪感を抱いています。だから少しでも前を向くために、その時を楽しんでいる自分の心を大切にしたいと思います。

「AYA世代がん患者の社会的困難とピアサポート」

東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科 松井 基浩



(松井先生のご講演の様子)

AYA世代(15~39歳)のがん患者に対する患者会の参加を通じたピアサポートは重要と考えられています。2009年若年性がん患者団体「STAND UP!!」が設立され若年性がん患者へのピアサポートが始まりました。「STAND UP!!」では全国のAYA世代がん患者への支援として①2009年より毎年全国約300のがん拠点病院に体験談を含むフリーペーパーを3万部配布し、②AYA世代特有の社会的困難を共有、共感する場としてAYA世代がん患者の交流会を毎年約10回程度実施してきました。これらの活動により全国で多くのAYA世代がん患者が繋がり、現在約700人のメンバーが所属をしています。また、AYA世代の認識が増すとともに、全国各地にAYA世代がん患者会が作られ、多くのAYA世代がん患者が交流し、ピアサポートを受けるようになってきています。

一見、AYA世代のピアサポートはAYA世代の対策と共に進んできているように思えますが、多くの問題を抱えています。大多数の患者会の参加に踏み出せない人へのサポート、患者会の運営のマンパワー不足、地方でのピアサポート不足などが考えられます。10年間AYA世代の患者会を行ってきた視点から、そんな問題に対してどのように取り組んでいくのか、皆さんと考えていきます。テーマは「医療と患者会の連携」です。今回の講演を通じて、今後ピアサポートの充実させるためにどのようにしたらいいのかを考察します。



(第8回シンポジウムの様子)



医療機関向けのお知らせ

受託検査をご利用ください

当院では、他の医療機関から下記の検査をお受けしています。ぜひご利用ください。

- MRI 検査
- CT 検査
- 上部内視鏡検査
- 腹部エコー検査
- 骨密度検査

【地域連携課予約担当】 TEL 047-712-0685 FAX 047-712-2573

(受付時間 平日 8:30~17:00 (祝日、年末年始を除く))



患者さん向けのお知らせ

健康(糖尿病)教室開催のお知らせ

- | | |
|---|---|
| <p>①【テーマ】検査のあれこれ
【日 時】2020年1月16日(木)
【講 師】検査技師</p> <p>③【テーマ】実践 糖尿病食事療法
【日 時】2020年1月29日(水)
【講 師】管理栄養士</p> | <p>②【テーマ】少しずつ工夫して血糖値ダウン
【日 時】2020年1月24日(金)
【講 師】保健師</p> |
|---|---|

【場 所】松戸市立総合医療センター 2階 会議室

【時 間】14:00~ (開場 13:45)

【問合せ】047-712-2511 (代表) 音声案内が流れますので、ダイヤルボタンの6を押し、
栄養管理室(内線:1091)までお問い合わせください。

申込み不要

がん患者・家族「集いの場」を開催します

【日 時】2020年1月22日(水)

13:30~15:30 (開場 13:00)

【場 所】松戸市立総合医療センター 8階特別カンファレンス室

【申込等】047-712-2511 (代表) 音声案内が流れますので、ダイヤルボタンの6を押し、
がん診療対策室までご確認・お申込みください。



臨時休診等お知らせ (2019年12月20日現在)

1月 診療科の全休診		2月 診療科の全休診	
皮膚科	10日(金)、24日(金) 29日(水)	皮膚科	17日(月)
小児脳神経外科	31日(金)	2月 医師の休診	
1月 医師の休診		整形外科	稲垣医師 19日(水)
内科	時永医師 16日(木) PM	血液内科	山崎医師 21日(金)
		眼科	豊北医師 21日(金)